

令和8年度 学校経営計画

学校教育目標	志をもち、主体的に挑戦し、未来を切り拓く生徒の育成 ～夢・挑戦・協働 三中～	
学 校 像	子 ども 像	教 師 像
○子どもの主体性と挑戦を尊重し、 安心して学べる学校 ○個別最適な学びと協働的な学びが実現する学校 ○多様性を尊重し、誰もが 自分らしく学べる学校	○高い志と誇りをもち、失敗を恐れず 挑戦する子ども ○主体的に学び、多様な人と 協働できる子ども ○心身ともに健やかで、 豊かな感性と倫理観をもつ子ども	○子どもの主体性を尊重し、 挑戦を支える教師 ○個別最適な学びを実現する 専門性の高い教師 ○チーム学校の一員として 協働し、安心安全を守る教師
校長の経営方針	<ol style="list-style-type: none"> すべての生徒の多様性を尊重し、一人ひとりが安心して学び、成長できる学校づくり 個別最適な学びと協働的な学びを実現する授業改善の推進 「認めて、ほめる」文化を基盤に、自己肯定感・自己有用感を育む生徒指導の充実 特別支援教育の専門性向上と校内支援体制の強化 生徒が主体的に企画・運営し、協働と感動を生む教育活動の推進 教職員の働き方改革とチーム学校による組織的な学校運営 	
教育目標達成のための重点取り組み		
項 目	重点取組内容	本年度の具体的な取組
①学力の向上 (ICT活用教育を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTで個別最適な学びを実現する授業改善 ○相互授業参観(年2回以上)、改善シート活用と学力調査分析を生かす授業改善の徹底 ○家庭学習習慣の定着と学習支援の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○三中授業スタンダード確立とICT活用やAI教材で習熟度別課題提示を行う。 ○相互授業参観「授業三步」と改善シート、分析会で改善点を共有する。 ○家庭学習ノート(改定かけはしノート)とタブレット教材を活用する。
②心の教育 (いじめ防止を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○元気なあいさつで心が通い合う学校づくり ○いじめの未然防止と早期発見・対応の徹底 ○不登校の初期対応強化と個別支援体制の充実 ○教育相談体制の強化と相談しやすい環境づくり ○道徳教育の充実と豊かな人間性・倫理観の育成 ○人権教育の推進と互いを尊重する学校文化の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ○横断歩道一礼や立止って挨拶等を奨励(生徒会活動、生徒指導部)する。 ○認めて、ほめる「ミツキグ、ミツキーン」と生活アンケートで組織対応を図る。 ○別室(レインボー)の活用とつながり支援プロジェクト(三中タイム、家庭訪問・オンラインの併用等)の実践。 ○管理職・SC・SSW・担任等による“チーム相談”を組織化する。 ○道徳科も「対話型授業」を推進する。 ○人権月間の設定と校則見直し等を通じた「尊重される学校文化」づくり

<p>③健康・体づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○体力・健康への関心を高める体力向上の取組推進 ○運動意欲を高める体育授業の充実と環境整備 ○部活動の適正運用と指導体制の整備 ○食への理解を深める食育の推進 ○健康・安全意識の育成と生活習慣の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の体力や健康への関心を高める取組を推進する。 ○レインボールーム活用による安心な学習環境づくりを行う。 ○部活動の活動時間（平日2時間以内）の遵守と運営体制を整備する。 ○生徒会と連携した給食内容の紹介や残食減少の取組を通じた食育の推進 ○交通安全教室、薬物乱用防止教室、防犯・情報モラル教室等を実施する。
<p>④業務改善・教職員の働き方改革の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○業務改善に向けた教職員の意識改革の推進 ○新校時再検討と勤務時間見直しによる超勤削減 ○学校行事の内容・規模見直しによる適正化 ○職員会議効率化など校務運営のスリム化 ○教職員の健康管理充実と働きやすい職場づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○部活動後1時間以内の退勤を促進する。 ○昼休み分割による帰りの会25分繰り上げ校時を検討・見直す。 ○部活動時間平日2時間以内を徹底する。 ○学校行事の内容・規模を見直し適正化する。 ○職員会議を効率化し校務をスリム化する。 ○健康診断後の再検査受診を徹底する。
<p>⑤特別支援教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育の専門性向上と校内支援体制の強化 ○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教育環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育に関する校内研修（年3回以上） ○個別最適な学び・協働的な学びを実現する授業実践と教育環境整備 ○通級指導の運用確立と担任・生徒支援の充実
<p>⑥学校独自の項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒会、実行委員会を中核とした、生徒主体の学校づくりの推進 ○人権意識の涵養を図るための人権講話会の実施 ○生徒が自らの志を語り合う「志を語る会」の開催 ○生徒の成長と活躍を支える、魅力ある部活動づくりの推進 ○地域と連携したボランティア活動の充実と参加促進 ○朝読書の習慣化 	<ul style="list-style-type: none"> ○体育大会・文化発表会の企画運営の充実 ○学校の約束（校則）の見直しと改善 ○教職員輪番による人権講話の実施 ○校長会食「志を語る会」で三中チャレンジ宣言を実施 ○部活動指導員を活用した専門的指導の充実 ○地域とつながる三中ボランティアの企画・実践 ○全校一斉朝読書、講師招聘読み聞かせで落ち着いた1日のスタート